

——その種目の魅力はどんなところにありますか。

海藤：観客がワクワクでキラキラ！

他の競技と違って「発勝負じゃないのでステップから着地まで目が離せないし、砂場の横に記録が書いてあるから凄さが一目瞭然です！マイナー種目ではあるけれど、一度見たら釘付けになる競技だと思います◎

ジャンプの回数が走幅跳や走高跳と違って3回あるもんね！見所が沢山あって注目です！

——チーム代表としての心持は(限られた人しか出る)どのできない日本インカレの選手として出場される心情などをお聞かせください)

海藤：好奇心

関東インカレでは爪痕を残すことができず、日本インカレも不安な部分があります。去年の自分を超えられない私自身の弱さに思い悩むことも多々あります。しかし関東インカレの時とは違い、一年生なりに楽しんで跳ぶことや今回の試合を糧に今後の活力にしようと思っていることなどプラス思考で考えられています！跳躍女子も背負っています！ですが、勝負にすぎず自分らしさを忘れずにいきたいと思っています。

初めての日本インカレで緊張とか不安が沢山あると思うけど海藤さんらしい楽しんで跳んでる姿や跳躍に期待してみてください！

——一緒に戦ってきたチーム芸芸大学陸上部のいい所はどんなところだと考えますか。

海藤：切磋琢磨し合えるところ

ブロックを超えていろんな人と練習したり課題克服に取り組んだり、みんなで士気を上げている雰囲気があるから、とってもやりやすい環境になっていると思います！チームメイトには感謝です。

ブロックを超えて走り引つ張ったりしたり姿をたまに見るよね！誰かのために誰かがっていう感じで一体感を感じるよね！

——ここに来るまでに(又は標準を切るまでに)強化して練習してきたことや日本インカレで見ているところはありますか。

海藤：ホップの飛び出し方と、助走も含め方の動かし方のイメージを変えたこと！今までブレていた軸を意識して走るようにしてきました！ホップは日本のトップ選手の動きを研究して前に飛び出せるように練習してきました！

見て欲しいところは、笑顔です◎

競技中どんな時も笑顔を絶やさず挑みます！

一年生のフレイミング爆発★